



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

葉山の音楽シーンを網羅したCD“海音・山音”から、
辻康介率いるVisMelodica (ビスメロ)と、

やはり葉山の音楽シーンを語るに欠かせない
スタジオ わーぶ 藤川正雄がSaxで参上する
旋律と咆哮の一夜。

VisMelodica

～古楽・ジャズ・民族音楽のミクスチャーサウンド～ [ビスメロ]

[出演] 辻康介 (Vocal)、福島久雄 (Guitar)、
近藤治夫 (Bagpipe)、鈴木広志 (Sax)、
立岩潤三 (Percussion)

ゲスト: 藤川正雄 from スタジオ わーぶ (Sax)



1月25日 (日)

開演19:00 / 開場18:30

料金: 前売券 2,800円 / 当日券 3,200円 (税込、自由席)

会場: 神奈川県立近代美術館 葉山

主催: 神奈川県立近代美術館

アヴェニールはやま

後援: 葉山町、葉山町教育委員会、

逗子市教育委員会、葉山町商工会、

湘南ビーチFM、FMヨコハマ、

tvk (テレビ神奈川)

企画・制作: 岩神六平事務所



Sound
museum
in HAYAMA

サウンド・ミュージアム in 葉山 Vol.2

—古楽・ジャズ・民族音楽の出会い—

ビスメロ・ニューイヤー・ライヴ

[チケットのお求めは] ©神奈川県立近代美術館 葉山 ミュージアムショップ ☎046 (877) 5630 ©岩神六平事務所 <http://roppei.jp/> ☎046 (876) 0712
©caféもうひとつの風景 ☎046 (875) 2950 葉山大道一色小学校向い「かやのきテラス」内 ©café nagisa ☎046 (875) 7990 森戸海岸入口

※本公演のチケットは、開催中の展覧会「湯原和夫展」の観覧券とは異なります。通常の開館時間9時30分～17時 (入館は16時30分まで) には、展覧会会場へは入れませんので、あらかじめご了承ください。

[お問合せ先] 葉山空間ANNEX ☎046 (877) 1225 (ポトマック株式会社内)

[会場のご案内]

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>
〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1 ☎046 (875) 2800

JR横須賀線「逗子」駅、京浜急行「新逗子」駅より京浜急行バス「海岸回り葉山行 (逗11、12系統)」で、
「三ヶ丘・近代美術館前」下車。(所要時間約20分)

※駐車場は台数に限りがございます。なるべく公共の交通機関でお越し下さい。

2009年
1月25日(日)

開演19:00 / 開場18:30

料金：前売券 2,800円 / 当日券 3,200円(税込、自由席)

会場：神奈川県立近代美術館 葉山

主催：神奈川県立近代美術館

アヴェニールはやま

後援：葉山町、葉山町教育委員会、

逗子市教育委員会、葉山町商工会、

湘南ビーチFM、FMヨコハマ、

tvk(テレビ神奈川)

企画・制作：岩神六平事務所

サウンド・ミュージアム in 葉山 Vol.2

ビスメロ・ニューイヤー・ライヴ

VisMelodica

～古楽・ジャズ・民族音楽のミクスチャーサウンド～



Vis Melodica (ヴィス・メロディカ) はラテン語で「旋律の力」。バグパイプの持続低音＝ドローンやグレゴリオ聖歌的なシンプルな旋律を基盤に独自の音作りを模索、ヨーロッパの古楽・イタリア民謡・カンツォーネ・歌謡曲・日本の童謡・民族音楽・オリジナル曲等を演奏するジャンルを超えたミクスチャーグループ。08年5月に最初のミニアルバム「Vis Melodica」を発売、酒場でのライヴからブリヂストン美術館ホール、アサヒビール・ロビーコンサート、ロータリークラブのチャリティーコンサートなど様々な場に出演。ヨーロッパの古い音楽＝古楽を理屈無しで楽しむためのプロジェクト「Da Nemo (ダ・ネーモ)」（辻康介主宰）の一環。
<http://homepage.mac.com/nemotsuji/>



辻康介 (ヴォーカル)

独自訳日本語歌詞による1600年頃のイタリア音楽やカンツォーネ等を主に歌う。主宰するプロジェクト Da Nemo (ダ・ネーモ) の3つのユニット「VisMelodicaビスメロ」「ネーモ・コンチェルト」「南蛮ムジカ」の他、「ジョン・グー・ボン・ミュージシャン」(中世放浪楽師の音楽)や「音楽青葉会・静岡児童合唱団」などで活躍。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナ等に師事。国際ロータリー財団奨学金でイタリアに留学、声楽の他にも古楽の理論的基礎を学んだ。国立音楽大学楽理科卒。
<http://plaza.rakuten.co.jp/nemotsuji/>



福島久雄 (ギター)

88年、ジプシー・ジャズのグループ「東京ホットクラブバンド」に参加。「福島久雄カルテット」や「Gypsy Swing Project」でリーダー活動を行い、「European Dark Sky」や「DE QUEL PAYS ÊTES VOUS?」「南蛮ムジカ」の他、「ジョン・グー・ボン・ミュージシャン」(中世放浪楽師の音楽)や「音楽青葉会・静岡児童合唱団」などで活躍。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナ等に師事。国際ロータリー財団奨学金でイタリアに留学、声楽の他にも古楽の理論的基礎を学んだ。国立音楽大学楽理科卒。
<http://www.k3.dion.ne.jp/~gypsyswg/>



近藤治夫 (バグパイプ)

バグパイプ・古楽器演奏家。ヨーロッパ中世民衆音楽の担い手である「放浪楽師＝ジョン・グー・ボン」に着目し、その社会的位置や演奏したであろう音楽について探究。1998年「ジョン・グー・ボン・ミュージシャン」を結成、中世の放浪楽師の音楽・精神を現代にどう甦らせるかをテーマに、ライブハウス、ストリート等での演奏活動を展開。他にも古楽バグパイプのアンサンブル「ザ・ブリュッセルバンド」主宰。演奏活動と並行してバグパイプ工房「Atelier de la Cornemuse」において古楽バグパイプの製作も行っている。
<http://blog.livedoor.jp/rausch5145pfeife/>



鈴木広志 (サクソ)

オリジナル曲を中心に演奏するソロ活動の他、田中庸介(Gt)とのDuo「glass」、「チャンキトルネド」、「清水靖晃&サキソフォネッツ」、「東京中低域」、福島久雄(Gt)のグループなどで活動する。「東京中低域」でLONDON JAZZ FESTIVAL (2006年イギリス)、福島久雄「Gypsy Swing Project」でGYPSY JAZZ FESTIVAL New Caledonia (2007年フランス領ニューカレドニア)に出演。2008年4月にはチャンキトルネドでKITA!! : Japanese Artists Meet Indonesia (インドネシア)に出演。
<http://suzuki-hiroshi.com/>



立岩潤三 (パーカッション)

ダルブッカをSusu Pampaninに師事、タブラ・バヤを吉見征樹・Pratulla Athalyeに師事、Glen Velezからフレームドラムのプライベートレッスンを受ける。GHOST、Alaya Vijana、ボチャイ・テマルコ、Memories of Nada、インド・アラブ・ベルジャ古典音楽、雅楽・邦楽や各種ダンス・ファッションショーとのコラボレーション等幅広いジャンルでドラム／パーカッションを担当し、日本に限らずU.S.A.やU.K.他ヨーロッパ各国、トルコ、香港、韓国等で演奏、ボーダーレスな活動を展開中。
<http://members.jcom.home.ne.jp/tanc/main.html>



藤川正雄 (サクソ)

70年後半にアンガラ劇団「発見の会」の音楽、音響を担当。他にも芝居の音楽に参加していた。「発見の会」で知り合った田口トモロヲ、不破大輔、しんこでブラックリストバンド「ガガーリン」結成、日比谷野音でデビュー。その後田口トモロヲの「ばちかぶり」に参加。90年代に入り真砂秀朗の「アウミューズ」「しおのみち」に参加。この頃から演奏以外に録音、サウンドインスタレーション、PA等音響エンジニアの仕事も始める。90年中頃に葉山に移住。レコーディングスタジオ「スタジオ わーぶ」を設立、夏は海の家「オアシス」で毎年すごしている。